

生涯学習だより

隔月発行

第 119 号

題字：高橋正一

今年も多彩な催しがいっぱい!

第二十回生涯学習フェスティバル

二十回を迎えた「生涯学習フェスティバル」が開催されています。十二月まで、協賛事業が多数予定されていますので、前号に引き続き、今後予定されている事業を紹介いたします。

協賛事業

◇第二十九回写真同人

「だらんぼ」写真展

- ・十二月五日(日)まで開催中
 - ・生涯学習センターロビーB
 - ・町内外の自然風景、動物、植物、祭りなど、会員十名がこの一年間で撮影した写真五十点を展示しています。
- 楽しい写真、美しい風景写真がたくさんありますので、是非ご覧ください。

◇スマイルポーリング大会

- ・十一月二十六日(金) 午前九時～
- ・スポーツセンター
- ・気軽に楽しめるニュースポーツです。スマイルポーリング大会はどなたでも参加できますので、心身の健康、仲間づくりの機会に参加してみませんか?

◇協会長杯ミニバレー大会

- ・十二月九日(木) 午後六時三十分～
- ・スポーツセンター
- ・町内在住で十八歳以上であれば、どなたでも参加できます。ミニバレーは、気軽に楽しむことができます。スポーツです。健康や仲間づくりのために、これを機会にはじめてみませんか?



◇楽しいクリスマス会

- ・十二月十一日(土) 午後二時三十分～
- ・生涯学習センター 二〇二号室
- ・幼児(保護者同伴)及び小学生を対象に実施します。図書館や学校で読み聞かせ活動をしている「お話会カッコウ」が、皆さんが楽しく過ごせるクリスマス会を行います。お友達や家族の方と一緒に楽しんでください。

◇エレクトーン・ピアノ発表会

- ・十二月十九日(日) 午後一時～
- ・山村開発センター 大ホール
- ・岡崎音楽教室、三浦音楽教室で学んでいる生徒の発表会を行います。日頃の練習の成果をご鑑賞ください。

◇Music Site Vol.11

- ・十二月十二日(日) 十八時～
- ・山村開発センター 大ホール
- ・観客と出演者が一体となることを目的に、町内のバンドによるライブを行います。毎年パワーアップしているライブをお楽しみください。
- ・高校生以下無料
- ・大人五〇〇円
- ・お問い合わせは杉山 (〇九〇一六二一〇一三三四一)

第38回 町民スポーツ祭 (6月27日～10月29日) 報告

種 目	開 催 日	優 勝
パークゴルフ大会	6月27日(日)	男子の部：鳥本 護 女子の部：田苗ヒサ子
年代別ソフトボール大会 	8月25日(水) 8月26日(木) 8月27日(金) 8月30日(月)	ダイヤモンドボックス(細岡(浩)・細川・相澤・方川・星屋・斉藤・高橋・鈴木・関・ケネス・佐藤・西垣・大河内・高田・井出・土井)
少年少女柔道大会	9月7日(火)	幼 児：五十嵐舞桜 小学校男子：川端 堅慎 小学校女子：川端 苑伽 中 学 生：関谷 崇徳
ソフトテニス大会	9月20日(月)	男女混成：橘内・小川ペア
マラソン大会 	9月25日(土)	小学校1年男子：中島 海 女子：玉手 春菜 小学校2年男子：星 健太朗 女子：福澤 優羽 小学校3年男子：折笠 竜馬 女子：渡邊 夏鈴 小学校4年男子：飯島太久馬 女子：山下 結 小学校5年男子：白石 航大 女子：大平 虹冬 小学校6年男子：中島 奨唯 女子：中西 未有 中学・高校男子：長根 盛勝 女子：中城 杏奈 18才以上4km：清原真樹子 18才以上2km：是澤 芳枝
ゲートボール大会	9月29日(水)	北斗チーム(鈴木・舟根・遠藤・岸・小林)
スマイルボウリング大会	9月30日(木)	男子個人の部：佐藤 増雄 女子個人の部：河原 ツネ
フロアカーリング大会	10月2日(土)	闘魂(横内・岸・伊藤・岩隈)
バレーボール大会	10月21日(木)	ヒロミGO!(佐々木(稔)・細川・川端・横内・杉山・酒井・佐々木(あ)・玉手)
フットサル大会	10月22日(金)	FCおにぎり(瀬戸・平野・山川・棚瀬・大塚)
ミニバレー大会 	10月23日(土) 小学生の部 10月24日(日) 一般の部	小学生の部：アローズ(高木・小椋・川端・塩澤) 160才未満の部：B級(清水・星屋・森下・石川) 160才以上の部：オリベズ(平間・森本・武藤・野澤) シニアの部：スマイル(松井・服部・大塚・服部)
ゴルゲート大会	10月26日(火)	男子の部：横内勝次郎 女子の部：服部千津子
バスケットボール大会	10月29日(金)	チーム・KATAHARA B(今野・藤川・門馬・松川・片山・ケネス)

◆ 本年度の町民スポーツ祭は、13種目での開催となりました。たくさんの町民の皆様にご参加をいただきありがとうございました。また、大会運営にあたり、ご支援ご協力をいただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

スポーツ活動は、家庭や地域の絆を深め、明るく豊かで健康な生活を送る上で重要な役割を果たしており、日常から運動・スポーツに親しむ事は、非常に大切な事です。今後とも大会運営等を工夫していきますので、1人でも多くの参加をお待ちしております。

芸術の秋到来！ 町民文化祭

今年度の町民文化祭は、11月1日～3日に展示部門が、7日に芸能発表部門が行われました。

展示部門 出展総数1,002点



子どもの作品から大人の作品まで、今年も多くの力作が展示されました。

芸能発表 出演63組 (出演者延べ144人)



日頃の活動の成果がお披露目されました。

※掲載した写真は、情報委員会で選定させていただきましたことをご了承下さい。

それゆけ! 青年会 【その33】

どうもこんにちは、青年会です。

この記事を作成している只今は秋まっただ中（この上士幌町の広報誌が編集され、皆様のお手元に届いている頃は冬かもしれませんが…）。会員の多くが農家で構成されている青年会では、お仕事優先のため青年会活動はちょっとお休みの季節でもあります。

というワケで今回は青年会主体の行事の紹介はできませんが、春～秋にかけて活動してきたソフトボール青年会チームについてと、生涯学習ラリーのお手伝いの様子を広報委員会のメンバーにレポートしてもらいましたのでご覧ください。

レポート1 ソフトボール

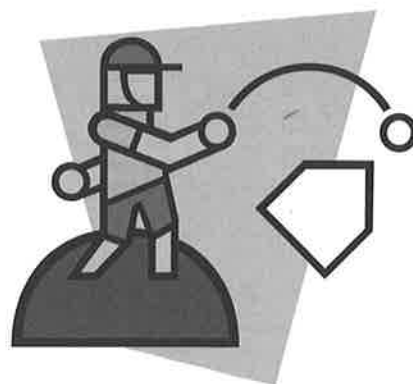
青年会では、ソフトボール協会や教育委員会主催のソフトボール大会に参加しています。

数年前まで青年会はとても弱く、勝つどころか、10点以上の差をつけられて負けるのが当たり前でした。しかし、今年は雪が残る3月頃から練習を始め、努力してきた結果、勝つことができ、負けたとしても接戦だったり、他のチームと同じレベルにまでなりました。

相手のチームからは「青年会は強くなった」「青年会との試合は面白い」という声もいただき自信もついてきました。

来年度も練習を重ね、全勝出来るよう頑張ります！

（記-高木 雄大）



レポート2 生涯学習ラリー



青年会は10月16日に『生涯学習ラリー』のお手伝いをしてきました。

生涯学習ラリーは僕も小学生の頃に参加したことがあるので、大変懐かしく思い出のある行事です。

会場では様々な催しものや体験コーナーがあり、たくさん子どもたちが生涯学習センターに集まってきました。

さて、肝心の僕たち青年会の担当ですが、ポップコーンやジュースの販売を行う『にこにこ喫茶』のお手伝いでした。

オープンとともにたくさん子どもたちがやってきて大忙し、今年がお手伝い初参加の僕は

こんなに繁盛するとは想像してなかったので、正直かなり油断してました…。

特にポップコーンは大人気で大行列！

途中ポップコーンを作る機械のトラブル等のハプニングもありましたが、子どもたちには喜んでもらえたと思っています（笑）

いやー、子どもたちが元気な行事って本当にいいもんですね。

（記-齋藤 豊）

ジャザサイズ

代表 松岡 千春さん

ジャズ、カントリー、クラシック等あらゆるジャンルの曲に合わせてエクササイズをする、これがジャザサイズ。そこには、活気、熱気、若さがいつぱいの瞬間があります。

ボクササイズやピラティスの動きも取り入れて脂肪を燃焼させ、強い身体作りをしています。また、チューブ、ダンベル、ボール、イス等を使って、幼児から高齢者、障害者の方々にもできる様に考えられています。

今年で十五年目になりますが、現在は二十代から六十代の方々が、運動不足とストレスを解消し、心と身体をリフレッシュしています。

十勝では上士幌と他に三町しかありません。インストラクターも少なく、士幌町から教えに来ていただいています。発表の場等はありませんが、今年の八月、帯広の歩行者天国で踊ってきました。



毎週金曜日に山村開発センターで午後七時三十分から一時間やっています。自分の入りやすいクラスに参加できますので、興味のある方は松岡(二一九二七)までご連絡下さい。(担当―大友)

生涯学習しています

そばは人を繋ぐ

早川 ^{かず}和 ^み身さん (11区)



「いい趣味を持てました」

そば打ちを始めたきっかけは、そば打ち教室に参加したことからです。もともとそば好きで、自分で打ってみたいと思っていました。できあがったものを食べたところ、

とてもおいしく、以来すっかりハマってしまいました。

そば打ちの難しさは、一つ一つの工程をきちっとやらなければ、おいしくならないことです。特に「水回し」と言って、そば粉に水を含ませる作業が大切で、その日の気温や湿度なども考えながら指先で水加減を感じ取りながら行います。失敗するとやり直しがききません。

「そばは人を繋ぐ」と言います。今後はボランティアなどで、地域の人たちにおいしいそばを食べてもらえるよう努力していきたいと思っています。

●そば打ちの奥深さを楽しそうに語ってくださいました。早川教頭の打ったそばを食べたことがあります。本当においしかったです。(担当―小幡)

30代から再チャレンジ

小 椋 茂 明さん (4区)



中学校・高校は陸上部で長距離を専門に走っていました。小学生のころからマラソン大会で上位に入賞していましたので、走ることは自身を持っていました。

高校卒業後は走ることから離れていましたが、30代になって年齢

の節目で何か始めようと思い立ち、得意だった走ることに再チャレンジすることにしました。毎年練習開始の頃は体がなかなかついていきませんが、徐々に体を慣らしてペースを上げていきます。30才から昨年まで13回連続して参加していました町民マラソン大会には、今年度参加できず残念でしたが、10月11日に高学年の男子とすずらん駅伝大会(音更町)に初参加しました。子どもたちを指導しながらの練習も初体験です。いい経験をさせてもらいました。

長距離はつらいスポーツと思われがちですが、練習を途中でやめないで是非走れるようになった自分自身を体験してほしいと思います。

●マラソンだけでなくソフトボールのチームでピッチャーをされている小椋さん。他の競技でもマラソンで鍛えた足腰が生かされることでしょう。

(担当―山中)

再発見 地域の宝

シリーズ
その73

『音更川の流送』記念フォーラム報告

12年間の調査を経て、『音更川の流送』が上梓の運びとなった。これを記念し、町・町教育委員会・十勝毎日新聞社・北海道新聞帯広支社・NHK帯広放送局のご後援を頂き、9月26日（日）に記念フォーラムを実施しました。

本フォーラムは2部構成で、第1部は『音更川の流送』で取り上げた遺跡・遺構の現地視察会、第2部は北海道大学の木村教授を招き、「自らの地域を知ることのワケ」と銘打って、基調講演とパネルディスカッションを行いました。

第1部では、音更川山道碑（現在川原に鎮座している水神も確認）、清水谷の調整網場所跡（水天宮跡地も一緒に）、上士幌神社に移された水天宮の祠を見学するルートでの視察会でしたが、「昔、三股で流送をしていた」「中島木工場にも流送仲間の息子さんがいるよ」など、ゆかりの方が多数参加して下さり、懐かしい話に盛り上がりました。



清水谷調整網場所跡では、水天宮の祠があった「くしゃみ岩」の上にも上

りましたが、熊やキツネの糞があることを知らずに踏んで笑いもあり、コミュニケーションを深めながら視察することができました。

今回は残念ながら水量が多いこと、また時間がないことから対岸の遺構へは行くことができませんでしたが、話だけではイメージがでない場所を実際に見てみることで、実感として受け止めて頂けたのではないかと自負しています。

フィールドワークの視察の最後には、当時に思いを馳せつつ、那須副会長の音頭で今は上士幌神社に移設された水天宮にお参りをしてきました。

第2部のフォーラムは会員の棚橋邦子さんの総合司会で進行了しました。木村純教授の基調講演では、「地域を作る学びは、学校と協働して子どもたちと一緒に学ぶことが重要。それが広がっていけば、若い人たちにも活動が広がっていくはず」と、ヒントを沢山いただきました。

その後のパネルディスカッションには宝さがしの会から伊東昭二・横田輝子・濱名啓次郎の3氏が、ひがし大雪博物館から須田修学芸員が登壇し、「調査書の利活用のためにパワーポイントなどの視聴覚教材を準備している」「会員の多くは尋常小学校などの義務教育までしか受けていない人が大半だが、豊富な人生経験を持った『上士幌マスター』として、『元気まち上士幌』に寄与できる」「流送は現代的視点から見れば自然エネルギーを利用した究極

のエコであった」「10年前までは流送事業に携わった人も健在で、比較的簡単に写真等の資料が入手できた」などの発表がありました。

コーディネーターの木村教授からは、例えば「子ども向けに絵本や紙芝居を作って、学校の教材として使えるものを用意してみても」「会の高齢化が進むということは必ずしも悪いことだけではない。知恵をたくさん持った人たちの集まりが、地域のためにできることをしていけば若い人も自然と興味を持っていく」など、沢山の示唆を頂いて時間の過ぎるのも忘れて聞き入りました。



『音更川の流送』は、帯広市の役所や外役施設建設資材調達のための事業に始まり、三股台風の風害木の処理で終了しました。この間、町民と深い関わりを持ちながら、林業は本町の基幹産業の座を占めるに至り、流送という壮大な事業が行われていた歴史と先人の労苦とこの町の開拓の一環をより多くの人たちに知ってもらおう良い機会になったと思っています。（宝さがしの会）

委員長の一言

上士幌中学校の文化祭は、大きな中学校の文化祭に負けないくらい活気にあふれていました。十一月に入ると、町民文化祭そして各小学校の学習発表会と続きます。芸術の秋まつさかりです。

私事となっておりますが、三月にひとりの卒業生に、中学校で吹奏楽部に入ったら学習発表会で一緒に演奏しようと話しました。先日、その話が動き始めたのです。

そこで、物置の片隅においてあったはずの楽器を探して、やっと見つめました。懐かしいトランペットと約三十年ぶりの対面です。

さて、ケースを開けたはいいが、ピストンやスライドは動かず、しかもなかなか音も出ず。こんなことなら少しづつでも練習しておけばと思いましたが、後の祭りです。

いや、これからでも頑張れば何とかなるかもしれませんね。

（中村 記）